

自分の住む地域で 認知症サポーターとして 出来ることを話し合おう



国立研究開発法人 国立長寿医療研究センター
企画戦略局リサーチコーディネーター
進藤 由美

1

本日の流れ

1. 認知症サポーターとしての取組
2. 全体共有
3. これからの活動に向けて

認知症サポーター養成

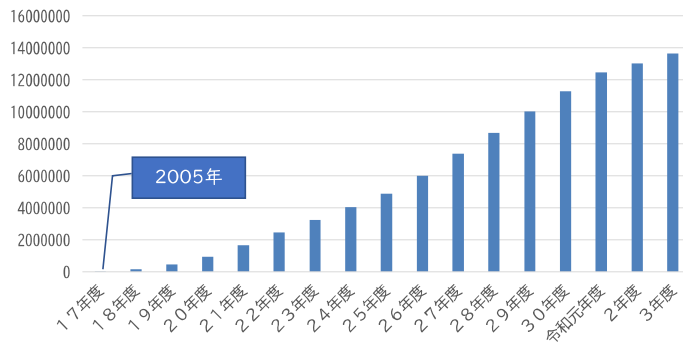
【認知症サポーターとは】

認知症サポーターは何か特別なことをする人ではありません。

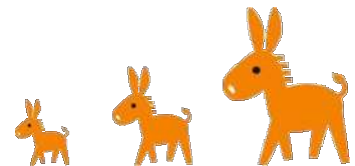
認知症について正しく理解し、偏見を持たず、認知症の人や家族を温かい目で見守る「応援者」です。

その上で、自分のできる範囲でサポーターとして活動しています。認知症サポーター養成講座で得た知識を生かし、近所で気になることがあればさりげなく見守る、まちなかで困っている人がいたら手助けすることも立派な活動の一つです。

(全国キャラバン・連絡協議会HPより)



認知症サポーター養成講座終了者数(累計)



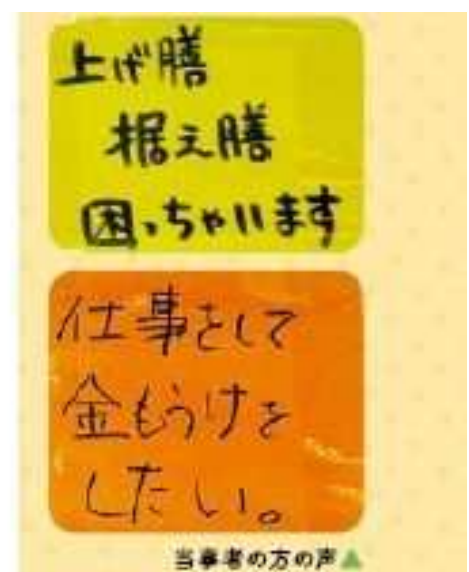
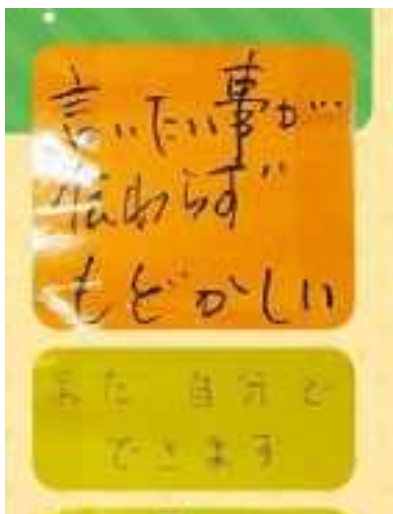
1. 認知症サポーターとしての取組(10分)

- 自己紹介: お名前、お住いの地域
- 認知症サポーターとして取り組んでいることや取り組んでみたいこと

2. 認知症サポーターとしての取組 (全体共有)

- 市町村の取組
- 地域包括支援センターの取組
- 事業所/施設の取組
- 住民の取組

3. これからの活動に向けて



資料: 愛知県豊橋市「認知症ケアパス」認知症の当事者の方の声

認知症施策推進大綱：「共生」

- 認知症の人が、尊厳と希望をもって認知症と共に生きる
- 認知症があってもなくても同じ社会でともに生きる



丹野智文氏



樋口直美氏



山田真由美氏



佐藤雅彦氏

資料：本の表紙：アマゾンHP (<http://www.amazon.co.jp>)

おれんじドア：名古屋市西区社会福祉協議会 (<http://www.nishiku-shakyo.jp/pdf/koureisha/orangedoor.pdf>)

認知症の人たちの「～したい」こと



家族だけ・介護職だけ・ケアマネだけでこれらの希望を叶えることは難しい

地域の皆さんの協力!!

「チームオレンジ」



例: 認知症サポーターたちの活動と地域での取組

資料: 和歌山県御坊市



資料: 京都府綾部市



認知症の方々の作品を販売



商店街をオレンジー色に

例：認知症サポーターたちの活動と地域での取組



神奈川県鎌倉市
デイサービスを通じた社会貢献
(写真提供) ワーキングデイわかば

岩手県矢巾町
わんわんパトロール隊
(写真提供 矢巾町地域包括支援センター)



皆様の活動目標

最後に： 認知症の人たちが必要としている支援

- 認知症は病気の進行に伴い段階的に進行する



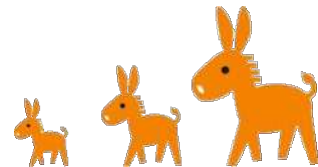
- MCI (軽度認知障害)
- 初期認知症
- 中度認知症
- 重度認知症

- 段階に応じ、必要となる支援は異なる



- 誰がどのように支援するか

地域の皆さんで
考えましょう!



住み慣れた地域で安心して暮らし続けるために・・・